



# 四っ葉のたより

YOTSUBA NO TAYORI

創刊号

Vol.1:2016年8月発行

発行 山の田地区まちづくり協議会

〒751-0834下関市山の田東町4-13(北部公民館2F)  
TEL・FAX:083-250-7955



▲来賓挨拶

## 設立総会

2016年6月10日(金)



役員挨拶▶



山の田地区  
まちづくり協議会会長  
鶴田 健二

### 「協議会発足のご挨拶」

平成28年6月10日に、中尾市長を始め多くのご来賓の方々にご臨席いただき「山の田地区まちづくり協議会設立総会」を開催いたしました。

規約、役員、予算などすべての議案が承認され、6月14日に市長の認定を受け、正式に住民主体によるまちづくりの第一歩を踏み出しました。

私たちのまち山の田中学校区は、山陽本線と山陰本線の分岐点となる幡生駅などがある交通の利便性の高いのが特徴です。又、この地区には旧市内唯一の「前方後円墳」のある

生野神社があり、歴史的な遺産が存在する地域でもあります。このような環境の整った素晴らしいまちですが、他のまちと同様に、社会を取り巻く環境は大きく変化し、少子高齢化、人口減少、核家族化、個人の価値観の多様化などにより、いろんな課題を抱えております。

これらの課題を解決するため、地域の皆様と一緒に、お互いの知恵を出し合いながら「安全で、安心なまち」「暮らしやすいまち」「人と人とのつながりを大切にするまち」の実現を目指し、まちづくりを進めていきたいと思っております。

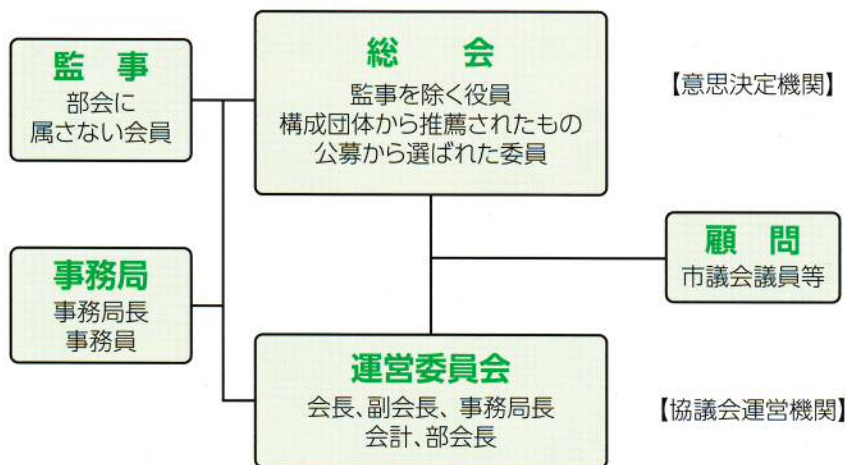
## 山の田地区の区域と町名一覧

幡生町一丁目(一部を除く)、幡生町二丁目、幡生本町、幡生宮の下町、生野町一丁目、生野町二丁目、宝町、三河町、大学町一丁目、大学町二丁目、大学町三丁目、大学町四丁目(一部を除く)、大学町五丁目、山の田北町の一部、山の田東町、山の田本町、山の田中央町、山の田南町、山の田西町、武久町一丁目、武久町二丁目、武久西原台、後田町四丁目の一部



■山の田地区の人口  
約**20,000**人  
■山の田地区の世帯数  
約**9,300**戸  
■山の田地区の面積  
約**3.77**km<sup>2</sup>

## 山の田地区まちづくり協議会組織図



【部会活動】



山の田地区の住民・学校・市民活動団体等の参画

## 山の田地区まちづくり協議会役員等紹介

会長 <b>鶴田 健二</b>	副会長 <b>岩根 吉夫</b>
副会長 <b>岸田 勘市</b>	副会長 <b>村尾 寛</b>
事務局長 <b>河村 満正</b>	会計 <b>門前 美智子</b>
総務部会 部会長 <b>松岡 茂</b>	健康福祉部会 部会長 <b>田中 勝正</b>
青少年育成部会 部会長 <b>松井 真一</b>	安全・安心部会 部会長 <b>金光 義人</b>
環境部会 部会長 <b>三谷 勝治</b>	産業・文化部会 部会長 <b>杉本 成弘</b>
監事 <b>三嶋 俊弘</b>	監事 <b>三坂 幸雄</b>
顧問 <b>香川 昌則</b>	顧問 <b>恵良 健一郎</b>

## 地域の風物詩

### 八朔踊り実行委員会会長 杉本 成弘

山の田地区である昔の生野村には古くから伝わっている盆踊りがあり、この盆踊りは盆以外にも、八朔(はっさく)行事や祝い行事の余興としても行われてきた。

九月一日(旧暦八月一日)は、立春から数えて二百十日、稲の開花期と台風のシーズンが重なるため農家では厄日として警戒されていた。

地元住民(農家)には江戸時代後期頃から風を鎮め豊作を祈るため生野神社の境内に集まり祭りが始まったと言われている。八朔とは旧暦八月一日の略であり、この祭りで踊られたことから八朔祭りと言われてきた。

この風鎮祭八朔踊りは、戦後昭和27年に祭り

を支えてきた青年団が解散となり一時途絶えたが、昭和47年地元有志による「幡生八朔踊保存会」が発足し練習を重ね昭和51年から活動を開始し現在に至っている。

現在は、幡生地区11自治会ほか7団体が一体となって八朔踊り実行委員会を結成、地域の行事として風鎮祭の後に踊られている。また、幡生各地区の盆踊り大会でも保存会の応援を受けて楽しく踊られており、八朔踊りの始まりには、生野小学校4~6年生児童による八朔太鼓が披露されているほか、北部地区文化祭オープニングセレモニーにおいても山の田地区の皆さんにもおなじみとなっている。

